

【 インフォメーション1 】

今大会は新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止のため、JBCFが定めた独自の対策ガイドラインに従い、細心の注意を払って大会運営を行います。

チーム/選手につきましては対策ガイドラインを遵守するようお願いいたします。

一 全般 一**■ 安全なレースの開催**

1. 事故を未然に防ぎ安全なレースにするため、無理をしないようにしてください。
2. 優勝争い以外（下位着順）のゴールスプリントはご遠慮ください。
3. 熱中症対策のため水分は多めに携帯してください。軽量化のために小さいボトルを使用するのではなく、必要な量を携帯してください。塩分、アイシングできる氷など、熱中症予防の準備も各自でお願いします。熱中症と思われる症状や体調が急変した場合は、選手、チームスタッフ問わず、すぐに主催者の救護所に来てください。
4. 高温や多湿といった状況下では、熱中症のリスクを避けるため、屋外で十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合は、定期的にマスクを外すなどして対策してください。

■ ライセンスコントロール

1. 混雑防止のため、チームでまとめて代表者が該当する選手のライセンスを持参してください。
2. 今年の有効なライセンスで、裏面に署名がされていることを確認してください。
3. ライセンスカードの提示及びゼッケン番号を申し出ていただき、ゼッケンを受け取ってください。

■ 出走サイン

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため今大会では出走サインは行わず、検車時に審判によるボディゼッケンの目視確認のみとします。
2. 検車を受けずに出走すると失格となりますのでご注意ください。

■ 検車

1. 両日参加する場合でも、必ずそれぞれの会場にて検車を受けてください。
2. 検車担当者立会いの下、各自で検車を行ってください。検車担当者は目視で確認します。競技車両の状態によっては重量等の確認も行いますので指示に従ってください。
1. 参加クラスを問わず、ジュニア及び各ユースカテゴリーに所属する選手は検車時にギヤ比チェックを行います。検車担当立会いの下各自で行ってください。
また、ジュニア及び各ユースカテゴリーに所属する選手が、各レース上位5位までの着順を受けた場合は、ゴール後速やかにギヤ比チェックを行います。
検車担当立会いの下、各自で行ってください。対象者は、フィニッシュ次第バイクチェックテントまでお越しください。
1. ヘルメットはJCF公認シールが貼られているものを使用してください。検車担当が手に取って確認しませんので、各自の責任で遵守してください。

■ 急激な天候の変化への対応

1. スケジュールの変更、チーム、選手への連絡は、連盟ホームページまたSNS等に掲載します。合わせて会場ではMCによる放送でお知らせいたします。



第7回 JBCF おおいたいこの道クリテリウム 第7回 JBCF おおいたサイクルロードレース

Jプロツアー-第12・13戦/Jエリートツアー-第14・15戦/Jフェミニンツアー-第13・14戦

・開催日：2020年10月3日(土) - 10月4日(日)

・開催地：大分いこの道周辺 特設コース(1km/周)、大分スポーツ公園 昭和電工ドーム大分周辺 4km/1周

2020年9月29日

【インフォメーション1】

一 競技面 一

■ スタート方式

1. クリテリウムにおいては、全クラスローリングスタートになります。また、ロードレースでは、全クラスタマスタートとなります。
2. ローリングスタート時は、前方の移動審判の指示に従って安全にスタートしてください。

■ ニュートラルサポート

1. ロードレースの競技中のニュートラルサポートは、P1, F, E1に関してはMAVICまたはJBCFにて実施されます。E2/E3, Yクラスへのニュートラルサポートを行いません。
2. ディスクブレーキ用ホイールはMAVICによりサポートされるクラスに限りです。ローターサイズはフロント160mm、リヤ140mmのみとなります。
3. レース中、機材交換を受ける選手は周囲を確認して、原則進行方向左側に安全に止まってください。

■ 飲食料の補給

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため可能な限りチーム同士の間隔を広く取ってください。
2. ロードレースでの補給は、フィードゾーンにおいて、コース進行方向左側からのみ行えます。
3. 補給員はフィードゾーン内で止まって、選手が補給員に近づき補給を受けてください。補給員がコースにはみ出す、走りながら渡すなどの行為は大変危険です。十分に気をつけて補給してください。
4. 補給員は所属チームの認識できるウェアを着用してください。
5. ゴミなどの投棄はグリーンゾーンにおいて行ってください。それ以外の場所では絶対に投棄しないようにしてください。ゴミの投棄により、今後会場が使用出来なくなる可能性もあります。
6. 定められた区間以外での投棄が認められた選手またはチームはペナルティの対象となります。

■ タイムアウト、自己申告DNF

1. コントロールラインにおいて関門を設置いたします。ロードレースにおいては、各クラス、先頭通過後5分程度を目安にタイムアウトを実施。タイムアウトの時間はレース展開により前後します。
2. クリテリウムでは、周回遅れになると考えられる選手は、タイムアウトとします。
3. 1項における5分程度でのタイムアウトはメイン集団にも適用いたします。このケースの場合については、事前に移動審判よりメイン集団に告知します。
4. タイムアウトの指示に従わない、混走で安全にコースアウトできなかった等の理由により走行を続けた場合でもコントロールラインでのタイムギャップ計測により当該周回でタイムアウトとなります。
5. 自己申告DNFの場合でも極力コントロールラインを通過した後に、コース以外を通過してチームピットまでお戻りください。

■ 会場・コースでの注意点

1. 会場内は一般のお客様も多くいらっしゃいます。安全に十分留意いただき、事故が無いようお願いいたします。
2. 試走を行い、ご自身でコースの特徴を確認してください。また下記などの安全を考慮した走行を心がけてください。
 - ・しっかりと前を見る、そして出来る限り先を見る。
 - ・急ブレーキや急な進路変更・無理な割り込みをしない。
 - ・自分の実力以上のスピードは無理して出さない

以上
コミセールパネル

主催：JBCF（一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟）

ツアー協賛：株式会社シマノ / シマノセールス株式会社 / 株式会社あさひ / 江崎グリコ株式会社 / パナソニックサイクルテック株式会社